

## ベンチでちょっと一休み

今回のお休みどころの調査をしたのは今年の11月中旬でした。その時は、紅葉が素晴らしかったのを覚えています。桜や新緑のころもベイタウンは美しい。春が待たれる今日この頃です。

調査のきっかけは、この街が高齢者にどれくらい優しい街か、知りたいと思ったことです。日頃の運動の基本は歩くこと。でも、年を重ねるにつれ長時間歩き続けるのが辛くなるのは避けられま

せん。そこを、ちょっと一休みしながら散歩が楽しくできればいいな、という気持ちでこのマップを作りました。皆さんの散歩のオリジナルコース作りのヒントになれば幸いです。

注意点はベンチの数(特に公園内)や位置関係は、そんなに正確ではないこと。印のないところでも、植え込みの緑や安全柵柱など、ちょっと腰掛けることのできる場所は散見できます。また、夏になると日陰がほしくなりますが、そのことは考慮に入っていないので、またコース取りが変わってきます。夏になったら、日陰調査でもしましょうか。(次ページにつづく)



(前ページから)

今回の調査で際立ってわかったことは、プロムナードや、各番街には、外部の人がちょこっと腰掛けるような場所はあまり提供されていない、ということです。各番街の中には共用スペースがありますから、「内」の人のコミュニケーションスペースという観点では十分です。でも、例えば以前の経験で、ウォーキングの最中に急に空模様が悪化し大粒の雨が降ってきたことがあったのですが、たまたまパティオス 10 番街の駐車場入口脇のベンチスペースで雨宿りさせてもらったとき、とても助かったな、ということがありました。「外」の人にも優しい作りに感謝したものです。

また、プロムナードには商店、郵便局や銀行など目的地は沢山ありますが、一休みするところはカフェしかないので、毎回「飲む」というわけにはいきません。それに、外出自粛のこの時だからこそ、たまたま通りで出会った知人とちょっと近況報告もしたいのに、立ったままでは辛いもの。先日寒い薄暮の中、四つ角の安全柵柱におしりをのせて話がはずむ方々を見かけました。ベイトウンのあちこちが、「通り過ぎる」所ではなく、「ちょっとした居場所」になったら、いいのに、とそのとき痛感しました。街の賑わいというのは、そういうところから始まるのかもしれない。

ということで、1面にはこのお休みどころいいね、というところをピックアップしました。通りがかったらどうぞ腰掛けて一服して、ベイトウンの景色を味わってみてください。歩いて見る景色と、座って見る景色って違うですよ。また、お散歩が楽しくなってくれたら嬉しいです。【小原】

## ベイトウンのベンチはどうなるの？

今回ベイトウンのベンチの記事を書くために、街の中のベンチをすべて撮影してきました。古いベンチはすっかり街の一部になっていて、もうそのベンチがなければ、なんだか別の知らない街に来たように思えるほど街の景色に溶け込んでいます。しかし、これらの古いベンチもさすがに時の流れと共にだんだん古びて、一部は壊れかけてきました。これらのベンチは壊れたらどうなるのでしょうか。

ベイトウンの街灯やベンチなどの公共物の設備はとても品質のいいものを使っています。特に街開き初期の頃に千葉県企業庁が整備した頃の設備は非常に品質がよく、デザイン的にもいいものが多くあります。

以前ベイトウンの街灯をすべてLED化するときに、それまでの街灯を調べたところ、ほとんどが特注品で街並みに合うようにカスタムメイドされていたものでした。代替品がなく、今設置されている街灯は仕方なく既製品のなかから（それでもかなり品質のよいものですが）良いものを選んで使っています。

ではベンチはどうでしょうか。ベンチもカスタムメイドの特注品でしょうか。ベンチはそう複雑で精巧なものでもないのに既製のものを選んで設置しているのかもしれない。それでも見たところ品質の高いもののようなので、故障するようなこともなく長期に亘って今の姿を保ち続けるでしょう。しかしそれでも永久にという訳にはいきません。30年、40年、50年と過ぎるうちに木製の部分は腐り、金属の部分は錆びます。そして壊れたとき、街灯と同じように既製品のなかから良いものを選んで置き換えるということになるのでしょうか。

ベイトウンは街開きのときの新しくてきれいな街から、30年の時を経て、少し熟成された風格のある街並みに変化してきているように思います。壊れたからといって、既製品のカタログからどこにでもあのような設備品を選んで取り付けただけでは街の美しさは削がれてしまうでしょう。かといって、カスタムメイドのものをその都度つくるというのも非現実的です。

ベンチの持ち主は千葉市です。壊れたからといって私たちが勝手に修理することはできません。しかし、市に任せきりでは、やがてどこの街にもあのような既製のベンチに置き換えられるでしょう。自分達で掃除をしたり、少しずつ補修したり、そろそろそんなことも考えなければいけないのかな、そんなことを感じながらの撮影でした。【松村】

## 防災委員会が千葉県知事より表彰

昨年の2020年12月21日、自治会連合会防災委員会（会長：吉田さん）が、千葉県知事より表彰されました。千葉県では毎年県内の防災組織を表彰しており、第9回目となる今年は、自主防災組織2団体、学校1校、事業所1社が表彰され、千葉市ではベイトウン自治会連合会防災委員会のみが受賞しました。

表彰は「地域防災力の向上」活動が評価されたもので、同委員会の吉田さんは以下のように受賞のよろこびと、これからの抱負を語ってくれました。

「打瀬地区の防災活動も早25年が過ぎました。これまでの取り組みが評価され、栄えある授賞を賜りました。防災委員各位の日頃の活動に深く感謝申し上げます。今回の栄誉を励みとし、これからもなお打瀬地区防災モデルに研鑽を重ね、活動に引き続き精進し邁進していきます。近年の未曾有の災害を受けて、改めて「防災への取り組み」が深まりました。これからは災害弱者に寄り添った優しい街創りに取り組みます」。

写真は千葉県庁本舎で行われた表彰式のものですが。

ベイトウンではこの受賞とは別に、福祉協議会打瀬部会が「全国社会福祉協議会会長賞」と「千葉市社会福祉協議会会長賞」の



2つの賞を受賞し、同時に長年ボランティアで子どもたちに将棋を教えるなどしてきた高田さん（10番街在住）が「千葉市社会福祉協議会会長賞」を受賞しました。

高田さんは「ふれあい将棋サロン」（2012年から毎月1回）、「夏休み子ども将棋大会」（2014年より毎年7月末開催）を開催する活動を行っています。



# マンションの資産価値を「街の景観」で守りましょう！

幕張ベイタウン協議会・景観委員会 投稿

この街にお住いの皆さんに「ベイタウンの魅力って何でしょう？」と伺うと、「通勤・通学に便利」といった回答とともに「ベイタウンの街並み」と答えられる方がたくさんいます。ベイタウンに暮らす皆さんの多くが「住宅やマンション」だけでなく「街の魅力ある景観」も一緒に購入したと感じられているのではないのでしょうか。

## この美しい景観はどうやってつくられたのでしょうか？

ベイタウンの景観の大きな特徴は「建物と街路が一体的に感じられる空間」を作り出しているところ。この街に暮らす私たちには日々見慣れた光景ですが、国内の住宅地でこういった景観は珍しいようです。欧州の街並みをイメージさせる景観は、いろいろな建築雑誌に取り上げられ、CMの舞台になったり、大学の研究対象になったりと、これぞまさしくマンションの資産価値を守るベイタウンの強み！

この景観は、今から約30年前に千葉県企業庁がまとめたデザインルール「都市デザインガイドライン」がベースになっています。マンション等の建物だけでなく、道路や公園等のデザインについても基準が示されていますが、残念なことに、これは街を作る時の「手引き」であって、美しい景観を永く維持していくための「しぼり」にはなっていない・・・。

## じゃあ、どうすればベイタウンの景観を守り、マンションの資産価値を守れるのでしょうか？

幕張ベイタウン協議会では、早くからこの問題に着目し、千葉市の協力も得ながら、皆さんにベイタウンの景観に関心を持っていただくイベント等を行ってきました。LED交換にあたって街灯のデザインを変更する際には、熊谷俊人千葉市長にも参加を願

## アパホテル東京ベイ幕張の「HOPE」

コロナ禍で暗い話ばかりが聞かれる年の初めですが、何かほっとするような話はないかと本紙のFaceBookページで記事の投稿をよびかけたところ、新都心のアパホテルが、部屋の灯りで「HOPE」の文字を描いている写真とともに、とても励まされたという投稿がありました。

撮影した方によると、早朝にご夫婦で散歩していてふと見あげたら目に入ったそうで、すぐにスマートフォンで撮影したものだそうです。

別の方からの投稿では、「HOPE」以外の文字が描かれることもあるようで、ホテルの心意気というか心配りに感心しました。このタワーホテルは旧プリンスホテルの時代から窓の並ぶ面を使ってクリスマス期にはツリーを描くなどして、ずっと以前には打瀬中学校生のデザインでベイタウンに向けた面を美しく飾って街の人を楽しませてくれたこともありました。



写真コンクールを行い、市長にもベイタウン住民の街への愛着を理解いただきました。(https://www.bt-machi.com/ 景観委員会)

ようやく昨年、景観や街づくりの専門家の力もお借りし、何に注目すれば今のベイタウンの美しく魅力ある景観を守り続けられるのか、その基準の案をまとめました！

ただ、この街に暮らす人たちだけで頑張っても、将来にわたって「街の景観」を守り切ることは難しい、やはり行政との連携は欠かせません。そこで千葉市の制度の一つ「景観形成推進地区」の指定を受けて、ベイタウンの景観を守る基準を公式に認めてもらいたいと考えています。

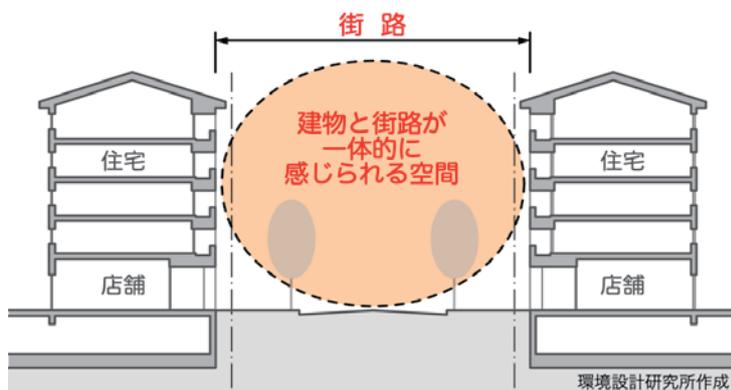
いよいよ市が「景観形成推進地区」の指定に向けて動き出します。ベイタウンの景観を守るため、これからの市の動きに、ぜひ皆さんも関心をお寄せください。

(詳しくは挟み込みチラシ「私の好きなベイタウン」をご覧ください。)



写真提供：山根治仁氏

ベイタウンの景観の特徴は「建物と街路が一体的に感じられる空間」を作ったこと。ここで街のいろいろな活動が生まれます！



## 市立稲毛高校が完全中高一貫制に 2025年度からは高校からの入学は不可に

千葉市教育委員会によると、市立稲毛高校は2022年度の同校附属中学校への入学生から完全中高一貫制へ移行し、2025年度からは高校入学試験を行わず、附属中学の生徒のみが同高校に進学できる制度になります。

市立稲毛高校は多くの中学からの受験・入学を受け入れてきましたが、この制度への移行で現在の小学校5年生からは高校入試で市立稲毛高校受験という選択肢がなくなります。

同時に、現在の「市立稲毛高等学校」や「附属中学校」という名称も改め「市立稲毛中等教育学校」という名称に変更されます。中学生は「前期生」に、高校生は「後期生」になるそうです。市立稲毛の名称で親しまれてきた地域の伝統校の名前が変わるのはとても寂しい限りです。

この完全中高一貫校への移行は、市教委では「教育改革推進課」という部署が担っていて、他にも最近コロナ禍で文科省でも話題になっている、「GIGAスクール」の推進など名前が示すとおり千葉市の教育改革を進める部署です。

千葉市教育委員会はこの一貫制への移行を「グローバル人材を育成する」目的で行うそうです。



つどいまなびつなぐ

ベイタウン・コア / 公民館通信

電話 296-5100

● 2月の主催講座～2月2日（火）9時受付開始

文芸講座「近代文学を彩った女流作家たち③」（全2回）

日時：2月12日（金）、19日（金）

13：30～15：30

場所：打瀬公民館講習室

費用：無料

講師：文芸評論家 鳥海宗一郎氏

対象：成人（先着16名）



大人の手芸教室「素敵なブローチピンを作しましょう」

日時：2月25日（木）10：00～12：00

場所：打瀬公民館工芸室

講師：日本手芸協会会員・ヴォーグ講師

小竿久実子先生

対象：成人（先着12名）費用：500円



◇申込方法

打瀬公民館窓口または電話 296-5100

※状況により中止の場合があることをご承知ください。

● 3月の主催講座～3月2日（火）9時受付開始  
はじめてのクラシック「おとのゆうえんち」

日時：3月14日（日）

10：00～11：00

場所：打瀬公民館ホール

費用：無料

講師：フェアリーズ 森本真由美先生

対象：就学前児と保護者（先着15組）



親子で本格的マジックを楽しもう

日時：3月21日（日）

14：00～16：00

場所：打瀬公民館講習室

講師：若葉の森マジック団 畝山順一代表

対象：小学校1年生～6年生と保護者

（先着8組）

費用：無料



● 「公民館でやさしい市」開催のお知らせ（申込不要）

日時：2月12日（金）

11：00～12：30

売り切れ次第終了

場所：打瀬公民館アトリウム

協力：千葉市園芸協会



2月のコア・イベント

わくわくおはなし会 2月のお知らせ

わくわくおはなし会2月、3月のおはなし会は、新型コロナウイルス感染予防のため、「おやすみ」とさせていただきます。再開が決まりましたら、改めてお知らせいたします。

お休みの間もブログやインスタグラム、facebookでおススメの絵本の紹介などしていく予定です。是非チェックしてみてくださいね。

※最新情報はブログでご確認ください

ブログ更新中・見てね\*\* <http://blog.livedoor.jp/chibawaku/>

◆お問合せ先◆ [waku2book@gmail.com](mailto:waku2book@gmail.com)

寺子屋工作ランド

「紙コマ」をつくろう

日時：2月27日 第4土曜日 午前9：30～11：30

場所：ベイタウン・コア工芸室

工作用紙5枚をはりあわせたコマです。きれいな模様をつけます。

持ってくるもの：はさみ、木工ボンド、クレヨン

参加費：50円（保険料）

第197回ファッティオリの会

日時：2月28日（日）午前9：30～11：30

場所：ベイタウン・コア音楽ホール

フルコンサートピアノ「ファッティオリ」の演奏やその他の楽器演奏をして頂けます。ただし、今回も新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、歌唱、金管楽器演奏は行えません。また入場人数の制限、演奏中も換気のためホールドアを開放など新しい形での開催となります。担当者の指示に従って、ご参加頂きますようお願い申し上げます。状況により中止の場合もあります。

最新の情報は <http://www.baytown.ne.jp/core/> をご覧ください。

申込締切：2月21日（日）

申込先：下口 [febbraio-22.andante\\_mayo@docomo.ne.jp](mailto:febbraio-22.andante_mayo@docomo.ne.jp)

キュービックカフェ2月・3月のイベント・ワークショップ

毎月9日はキュービックの日！『キュービックマルシェ』

< 2月 > 2/9（火）※雨天中止／

2/23（火・祝）ワークショップマルシェ@コミュニティスペース絆

< 3月 > 3/9（火）

レッスンバックや防災頭巾カバーなど学用品布製品も販売します。



イベント詳細・お問い合わせ：キュービックカフェ  
<https://www.cubic-cafe.com/>



2月のベイタウンかふえ ～中止します～

2月10日（水）に予定の「ベイタウンかふえ」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止することにいたしました。1月に予定していた「新春落語会」に続き、しばらく皆さまとお会いできなくなり、残念です。

それに加え、2月20日の、映画「ぼけますから、よろしくお願いします」を上映して監督さんと交流する企画も、4月に延期します。認知症の家族を支える姿をユーモアたっぷりに描いたドキュメンタリー映画なので、是非皆さんにご覧いただきたいと思います。次回の「かふえ」「上映会」の日時等は、追ってまた皆さまにご連絡いたします。

問い合わせや、連絡等がありましたら、

うたせ認知症を考える会 中澤（TEL：211-0588）までどうぞ。

茶々まきはり保育園が10周年

美浜打瀬小に隣接する茶々まきはり保育園が今年で10周年を迎えるそうです。

昨年は海浜打瀬小が20周年、その前には打瀬中、打瀬中が20周年と、慌ただしく記念の年が過ぎました。コロナ禍のなか、すべてのこどもたちが不安なく学べる日が戻るのを祈ります。